

3類型	農林水産物	通巻番号	3-21-133
地域資源名	新潟米	認定日	平成22年2月10日
地域	新潟県上越市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：水田資源(米、籾殻等)を利用した生分解性マルチシート等
農業用資材の開発・販売**

会社名：アグリフューチャー・じょうえつ株式会社 所在地：新潟県上越市辰尾新田1番地
 連絡先：TEL:025-527-3751 H P :http://afj.jp
 FAX:025-527-3770

事業概要(新たな活用の視点)

・事業開発の経緯
 既存の農業用マルチシートは、産業廃棄物として処理する必要があり、高齢化が進む農家では撤去作業の労力が大きな負担となっている。そのため生分解性シートに対するニーズは高いが、現在流通している生分解性シートは高価であると同時に使用中に劣化が進むなど使い勝手が悪く、それらの課題を解決した生分解性シートが望まれている。

・地域資源の強みと新たな活用視点の導入
 米は、その順化作用により生分解性を高める優れた原料であり、籾殻は、低未利用な農産資源であり、安価で強度の発現に優れた原料である。新潟産米及び籾殻を用い、その提供者である農家のニーズにあった“環境負荷が少なく、農作業の省力化に貢献する”生分解性マルチシート等農業資材の開発販売を行う。

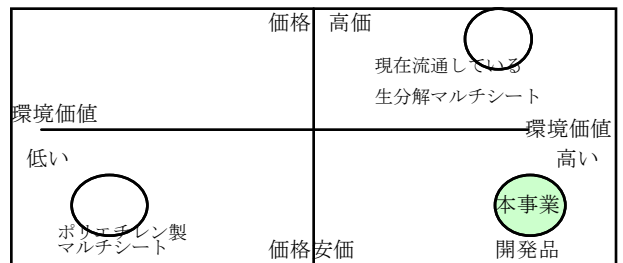


新規需要米からできる樹脂 バイオマスプラスチック
コンパウンド



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

- ◆競争力
 - ・使用時に安定して使える生分解シート
 - ・エコで価格が安い
 - ・原料が国産農産物
- ◆市場性
 - ・資源循環型社会において注目が高まっている生分解性プラスチックは2015年までに150万トンまでその市場が拡大するとされる。
 - ・特に、農業用マルチシートは、国内では、最も需要拡大が見込まれる分野である。
- ◆販路
 - ・原料の供給元であるJA、全農を販路として、販路を拡大する。



当社開発
 「お米から生まれたごみ袋」「マイ(米)弁当箱・トレー」



地域資源における関係事業者との連携

- ・地元、JAえちご上越より原料である新規需要米並びに籾殻を仕入れ、まず地元農家に提供する(地産地消)
- ・新潟米の新たな需要を喚起することで地域農家の活性化及び新たな雇用による地域産業へつなげる